



MAEZAKI



特集

教科書に載っていない

御前崎の戦争史



死ぬのが怖いとは思わなかったよ。その時はアメリカをやっつけねばと思ったね。志願して陸軍に入って、中国なんかに行ったら。無線をできる人が少なかったから、任されただよ。御前崎の小学校では無線の授業があったでね。「シンガポールに向かえ」とか、そういう伝達をしたっけな。

戦況が悪くなってくるとね、朝ごはんはみんなで食べるだけえが、晩ごはんの時にはみんな揃わなくて：かわいそうに、特攻で死にしまっただよ。私も銃撃にあっただけえが、脚だっただもんでね。もう少し上だったら死んでたな。私だけ、生きて帰ってききました。

敗戦を聞いた時は、なんにも感じなかった。その頃は、負けることあわかりきってたで。

話 松下嘉實さん 92歳(西側区)



▲御前崎村警防団竹やり訓練の様子（昭和18年頃）



教科書に載っていない

御前崎の戦争史



終戦から73度目の夏を迎えました。小学1年生だった人もすでに80歳となり、戦争を知らない世代が大半を占めています。御前崎の地も戦争の被害を受けたことは、言うまでもありません。その一方、73年の年月が流れ、戦時中に、ここ御前崎で起きたことを詳しく知る人が少なくなっていることも事実です。尊い犠牲の上に今の平和があります。今回は、私たちのまちの戦争の記録と記憶を振り返り、平和を継承していくことについて考えます。

全国民を巻き込んだ太平洋戦争

1941年12月8日、日本軍がハワイ真珠湾に奇襲攻撃を仕掛け、太平洋戦争が勃発しました。「国家総動員法」により、全ての人や物的資源は、政府に「もの」のように扱われました。嫌だと言ったこともできず、出征したり、軍需工場へ働きに出たり。「お国のためだ」と言っって心を殺して、全員が国に尽くしました。

国民の働きとは裏腹に、日本はどんどん追い詰められていきました。日本の戦意を失わせるため、広島と長崎に原爆が投下され、一瞬にして何十万という命を奪い、まちをさら地にししました。

戦時中の主な出来事

1937年	防空監視哨が御前崎・池新田に設置される
1939年	遠江射場が開設される
1941年12月8日	真珠湾攻撃
1942年4月18日	米軍機による初の日本本土空襲
1944年6月25日	白羽村に大型焼夷弾投下。非住家2棟、豚1匹、収穫した麦12俵、農具類全焼失
1945年1月9日	合戸に爆弾10個投下
2月15日	新野村に爆弾10個投下。子ども2人死亡
4月16、19日	御前崎灯台付近に焼夷弾多数投下
4月24日	蒲池に爆弾16個投下。3人死亡
6月17、18日	浜松空襲。市街地の70%消失
6月19、20日	静岡空襲。約1700人死亡
8月6日	灯台とその周辺に大型爆弾投下。灯台の屋根と付属建物、宿舍2棟大破
8月9日	艦載機が御前崎国民学校に襲撃。校舎と民家数軒に被害。防衛下士官1人死亡
8月10日	日向子海岸沖に爆弾投下
8月30日	白羽国民学校に機関掃射。全教室に被害。
8月28日	御前崎村稲荷山付近の畑地、民家に爆弾投下。2歳の子が死亡
8月25日	広島に原子爆弾が投下
8月23日	長崎に原子爆弾が投下
8月21日	稲荷山、カキ岩一帯に時限爆弾が投下され、処理で3人死亡
8月15日	戦争終結の詔書を放送



①写真上部が池新田の防空監視哨。上空の敵機を監視した②池新田のトーチカ③爆撃を受けた御前崎灯台。屋根付近が破損している④出征記念。兵隊に行くことが決まり、親族が神社に集まって健闘を祈った⑤大日本国防婦人会。日用品やお守りを入れるための慰問袋作り、家族慰問など、重要な役割を担った⑥新野の最勝防空壕。軽便（オット）が通っていた堀之内軌道のトンネルを防空壕として利用した

市内に残る 悲しい戦争の記憶

そして1945年8月15日、終戦。あまりにも多くの犠牲を払った戦争は、ポツダム宣言を受諾して無条件降伏の下、その幕を閉じました。

戦時中、睦浜（掛川市）と白羽までの海岸部に、砲弾の性能を試験する遠江射場が建設されました。射場には観測所（トーチカ）という、着弾を観測する施設が一里（約4千メートル）ごとに設置されました。発射場所から池新田までの距離は8千メートル。そのため、市役所南側の海岸付近の土地は「八千代」と呼ばれるようになったのです。このトーチカは、今もそのままの形で、白砂公園東側に残っています。

東京から遠く離れたこの地にも政府からの命令が下りました。出征はもちろんのこと、漁船が徴用され、丸腰の状態で最前線の海での監視や軍需輸送任務にあたり、犠牲になりました。

学校や民家などにも爆弾が落とされ、そのたびに住民は恐怖しました。どのような明日を思い描いて毎日を過ごしていたのでしょうか。戦争を知らない世代には想像も及びません。当時は「神州不滅」と教え込まれ、勝利の日を信じた。疑うことは許されなかったのです。

今は本当に平和だでいいね

体験談



増田幸一さん 90歳（新谷区）

私は昭和18年5月1日に海軍乙種飛行予科練習生（予科練）の20期として、三重海軍航空隊に入隊した。当時15歳でね。志願して試験に受かったもんだから、うれしいうけよ。学校でも先生が話すから、私は子供心に「自分は次男だから兵隊になつてお国のために働くのだ」と考えていた。

兵隊はすごい人だよ。村を出るときには村長をはじめ、村の人総出で送り出してくれた。道に出てきてくれる人もあった。千人力と虎の絵が描かれたシャツをもらってね。千人の男性が「力」という字を寄せ書きして願掛けをしただよ。それから慰問袋をもらった。中には先生とか後輩とか、いろんな人からの手紙が入ってたよ。予科練は毎日毎日訓練ばかりで、上官の言うことは絶対服従の厳しいところだった。1人でも誰かが悪いと軍人精神注入



▲左 / 訓練生の時につけていたノート。慰問袋に入っていた手紙が書き写されており「ワタクシモスグユキマス。テキヘイノオスソウケヲタノミマス」などの言葉▲右 / 千人力と虎が描かれたシャツ。今は薄いですが、力という字が虎の画を囲ってびっしりと書かれている

棒という棒で、連帯責任で全員がぶたれた。そのときは嫌になるだけで、逃げる訳にゃいかん。ある日、予科練が全員集められて、特攻隊への志願を募った。紙に○か×を書いて出すように言われたが、全員が○で出したようだったね。上官は、隊員に男兄弟が多いかどうかなどを考慮して選んでいた。

訓練を受けているうちに戦争はどんどん苦しくなつて、昭和20年に日本は負けた。だから私は戦地へ行くことはなくなつたけど、あともう少し終戦が遅かったら、自分も戦地へ行つていただろうね。負けたのは悔しいとも思ってたけど、その時には、本当に家へ帰りたいと思つた。無事の帰還に、家族はとても喜んでくれたよ。

同期は亡くなつた人も多いが、会えばいつも当時のことを話す。近頃は慰霊になればと、般若心経を写経しているよ。

忘れられん、あのつらさは

体験談



曾根そめさん 100歳（女岩区）

娘2人が10歳と7歳のとき、主人に召集令状がきて、豊橋連隊に行つた。それまでは女学生に毎日訓練をつけていたよ。令状が来たときには、私は良い気持ちにはなれなかったよ。生きて帰ってこられるか、全く分からんでね。でも、仕方ないだよ。そんな時はありがたいと思つて見送るしかなかった。

主人の両親と一緒に住んでいてね。戦時中は義父が海でわかめや魚なんかを取ってきてくれた。私はそれを菊川とか掛川とか、そっちの方まで自転車で行商に行つて生計を立てたの。今みたいに舗装された道じゃないし、坂道も多くつて。タイヤがパンクしたりなんかするともう大変だった。そうやって少しずつお米を手に入れてね。でも、それは食わずにとっておくの。主人が帰ってきたら白いお米を食べさせてやりたかったでね。主人は豊橋からフィリピンに

行って、それからはずっと生死不明。フィリピンのどこで、いつ、どんなふうになつたか、誰も、全く何も帰ってこなかったで、わからんけ。帰ってきたのは白木の箱に紙切れ1枚入っていただけ。その紙切れには別にも書かれていないよ。

主人はね、元気で、体がいかなくて、優しい人だっけ。帰つてこないって分かつたときには、それはつらいよ。結局、お米は葬式用になつちやつた。今は若い衆に囲まれて、かわいがつてくれるで幸せだよ。だけんね、戦争の時分には本当に何もなくて。今の衆じゃわからんかもしれないが、配給を受けて、行商して、交換して、やつと食いつないできた。お金もないし、ここらには田んぼがなかったから大変だっただよ。戦争はこりごり。平和にみんなして幸せに暮らす。これからもそれをお願いしたいね。



▲そめさん 28歳の時の家族写真と、軍服姿のご主人。残念ながら、4人そろつての写真は残っていない

「あの日」ヒロシマ・ナガサキ鑑賞会

朗読劇を鑑賞し、戦争で何が起るのか、どれだけの被害が出たのかを知る事ができました。今の世の中はとても平和です。戦争から今日までにたくさんの人たちが頑張ってきたからこそ今があるのだと感じました。日々、感謝の気持ちを忘れないようにしたいと思います。

浜岡中学校 3年1組
さいた 齋田 さん
わかな 和奏 さん



▲7月4日に浜岡中学校3年生を対象に実施された「朗読劇『あの日』ヒロシマ・ナガサキ」の様子。戦争の惨状に、生徒らは時折目を伏せながらも、真剣に耳を傾けた。同校では、毎年夏休み前の時期に鑑賞会を設け、平和を考える機会としている。御前崎中学校でも9月実施予定。ピノキオでは、依頼があれば市外でも朗読劇を実施している。

戦争の記憶は年月とともに確実に色あせていき、歴史上の一部となりつつあります。戦争の悲惨さと平和の尊さを広く伝えようと活動する団体があります。市内の読み聞かせボランティア「ピノキオ」の皆さんもその団体の一つです。

「朗読劇『あの日』ヒロシマ・ナガサキ」をやり始めたのは13年前。戦争に関する読み聞かせをやってはどうかという声があり、メンバー全員が賛成したのがきっかけです。私たちなら、私たちには語り継ぐ責務がある、そう強く感じました」と、代表の判治純代さんは話します。

戦争は二度とやってはいけません。これは、誰しもが願うことでしょう。しかし、何もしないままでは、あの悲惨な出来事は尊さを伝えたいと思つてい



▶読み聞かせボランティア「ピノキオ」の皆さん。代表判治純代さん(前列左)

風化し、現実味を帯びない過去の出来事になってしまっています。歴史を繰り返すことになりかねません。あの過ちを繰り返さないために、私たちには何ができるのでしょうか。

大切なのは みんなが語り継ぐこと



ここ御前崎の地にも、人にも、戦争の記憶が残っています。戦争は歴史の授業で学ぶコマではありません。身近な実話なのです。今回の取材を通じて、当たり前のように日常生活が送れることは、とても幸せなことなのだと感じました。

「戦争は本当にこりごりだ。みんなで平和に暮らしたい：」戦争のない平和な社会を未来へ継承するためには、そうした戦争体験者の気持ちや戦争の事実をしっかりと受け止め、向き合い、次世代へ語り継ぐことが重要です。

たった73年前に繰り広げられた戦争。重く尊い犠牲の上に今の私たちの生活があることを忘れてはなりません。次代に受け継いでいかなければいけません。これは今、戦争体験者と同じ時代に生きる私たちの使命ではないでしょうか。

この夏は家族と、73年前に思いをはせる夏、平和の尊さについて考える夏にしてみませんか？戦争体験者の思い、願いを、少しでも後世へ！。 終

【参考文献】『御前崎町史』、『浜岡町史』
【写真引用】『御前崎町史 写真集』、『浜岡町・閉町記念写真集 風紋』

消 安全運転で火災現場へ急行せよ 防団で運転講習初開催

消防団安全運転講習会が7月5日～7日、遠鉄浜岡自動車学校で実施され、団員61人が参加しました。消防車の運転や緊急走行に対する不安を解消し、運転技術や安全意識の向上を目指すもので、市では初の試みです。団員は教習指導員の指導のもと、狭くて障害のある道などを慎重に走行。団員同士で声をかけあい、安全を確認しながら、技術と知識を身に付けました。



交 交通事故で悲しむ人減らしたい 通安全県民運動を実施

夏の交通安全県民運動に伴う出陣式が7月11日、御前崎市役所で執り行われ、交通安全会や交通指導隊など、170人が出席しました。4月に菊川警察署管内で高校生が亡くなったことを受け、池新田高校、小笠高校の生徒9人が交通安全を宣誓。池新田高校1年の加藤舞大さん(中町)は「あらためて命のかけがえのなさ、大切さを考えさせられた」と話し、率先して交通ルールを守ることを誓いました。

豪 前を向いて頑張る被災者の力に 雨災害の被災地呉市へ

平成30年7月豪雨の被災地、広島県呉市へ派遣される市職員2人が7月19日、市長へ出発報告をしました。「業務が決まっておらず不安もあるが、力になれるよう頑張りたい」、「土砂による衛生問題や市民のストレスが想定される。保健師として、市民に寄り添った支援をしたい」と決意を話しました。

【派遣職員】 村田裕佑主事(7月20日～28日)
鈴木則子課長補佐(7月24日～28日)



河 故郷の川を愛し守り続けた努力 川愛護活動認められる

下比木町内会が7月23日、河川愛護団体として袋井土木事務所長から表彰されました。同町内会は、箆川の除草作業を合併前の浜岡町時代から20年以上、継続して実施しており、その功績が認められての受賞です。町内会長の岡村靖さんは「下比木町内会の皆様のご協力と努力のおかげで表彰されることができた。大変うれしく思う」と受賞の喜びを話しました。



宝 活気あるコミュニティ活動援助 くじ助成で祭用品整備

新神子区町内会は6月、宝くじ社会貢献広報事業として(一財)自治総合センターが実施する、「コミュニティ助成事業」を活用し、祭典などで使用する大太鼓や移動式投光器、発電機などを整備しました。この助成を活用することにより、地域で大切にしている伝統行事に多くの住民が参加することや、コミュニティ活動がより活性化されることが期待されます。



陸 昨年2位の結果からさらに躍進 上全国大会へ出場決定

第34回全国小学生陸上競技交流大会静岡県選考大会6年女子100mで優勝した片桐明星さん(佐倉一区)が6月28日、柳澤市長を訪ね、喜びを報告しました。8月18日に神奈川県で開催される全国大会へ出場します。片桐さんは「予選の県大会ではスタートを失敗してしまった。今度はスタートを完璧にして、決勝に進みたい」と、全国大会への意気込みを話しました。

建 優秀な工事で市内がより快適に 建設業者3社に優良表彰

御前崎市優良建設工事表彰が7月13日、市役所で実施され、市内の建設業者3社が受賞しました。柳澤市長は「年ごとに技術が向上している。これからも素晴らしい工事をしてほしい」と感謝しました。**【受賞業者と対象工事】**写真左から(株)松下工務店(市道東町東海岸線改良舗装工事・池新田川改修工事)、(株)西島土木(市道207号線改良舗装工事)、(株)植田組(市道209号線改良舗装工事(2工事))



花 おうちでも約束ちゃんと守るよ 火教室で遊び方を確認

花火教室が7月17日、北こども園で開かれ、年少から年長の69人が参加しました。夏休みを前に子どもたちに火の怖さや花火の正しい遊び方を学んでもらおうと、消防本部職員、消防団女性隊隊員が指導しました。園児らはまず紙芝居を真剣に聞き、花火をする時は必ず大人の人と遊ぶ、水の入ったバケツを用意するなど、三つを約束。その後、外で実際に花火をし、正しい花火の遊び方を確認しました。



七夕に合わせ優雅にお点前 7/1

丸尾記念館で15回目となる七夕の集いが催され、200人を超える人がお茶席を楽しみました。伝統文化こども茶道教室や池新田婦人講座の皆さんが日頃の稽古の成果を披露。七夕にちなみ、五色ソーメンの点心席、子どもがたてるつゆひかり冷茶の野点席、大人がお点前を披露する薄茶席が用意されました。

◀日頃の稽古の成果を披露し、来場者をもてなす子ども



また御前崎に帰ってきてね 7/9

御前崎小学校5、6年生が中心となって飼育したアカウミガメの放流が下岬海岸で実施され、全校生徒が参加しました。6年生の大澤柑菜さん(西側区)は「手のひらサイズだったのにここまで大きくなった。また元気に帰ってきてほしい」と話しました。児童らの声援を背に、16頭が大海原へと旅立ちました。

◀「元気でね」、「頑張れ」と見守る児童らと海を目指すカメ



力合わせてマリンスポーツ 7/13

御前崎小学校の海洋授業がマリンパーク御前崎で実施され、4年生38人が参加しました。海岸清掃をして御前崎の海に流れ着くゴミの種類などを学習した後、ビッグサップやシュノーケリングで海を体感。川口繫心さん(広沢区)は「立ってこぐときにスリルがあっておもしろい。協力してできた」と感想を話しました。

◀掛け声とともに力いっぱいビッグサップをこぐ児童



自分でとったとうもろこし 7/21

浜岡飼料生産組合主催のとうもろこし狩りが池新田地区で開催され、市内の幼稚園、保育園、こども園の園児と家族ら約280人が参加しました。畜産への理解を深めてもらう取り組み。白黄色の甘く柔らかいとうもろこしを収穫し、園児らはうれしそうに、腕いっぱい抱えていました。

◀身長よりも高いとうもろこしに囲まれ、夢中で収穫した園児



手もみの伝統を体験したよ

6/29

お茶の手もみ方法を学ぶ授業が実施され、第一小学校3年生107人が参加しました。児童はお茶の手もみ方法の種類を学んだ後、実際に手もみを体験。児童からは「お茶っ葉は初めは柔らかかったけど、だんだん乾いてぱらぱらになった」、「いろんなもみ方があるんだね」といった声が聞かれました。

◀手もみの種類をおさらいし、心を込めて手もみをする児童



今年も安全な海水浴場願う

7/7

マリンパーク御前崎海水浴場の開場式が執り行われ、海開き期間中の安全を祈願しました。観光協会の下村裕会長は「たくさんの人にお越しいただき、暑い夏を乗り切ってもらいたい」とあいさつしました。昨年度は3万1000人が来場。今年はさらに多くの人でにぎわうことが期待されます。

◀平成最後の夏も安全、快適に過ごしてもらえるよう祈願



海の子は山へ山の子は海へ

7/11

長野県王滝中学校の1年生6人が御前崎中学校を訪れ、本年度で56回目となる交流会が実施されました。生徒はお土産交換やボール渡しゲーム、合唱などを一緒になって楽しみました。王滝中学校の栖村友希さんは「みんな明るく話しかけてくれて仲良くなりやすかった」と大勢で遊んだ時間を振り返りました。

◀6チームに分かれてボール渡しを競う両校の生徒



古代史教室で飛鳥時代学ぶ

7/14

第2回古代史教室が新野公民館で開催され、55人が参加しました。講師は前回に引き続き、大河ドラマ「おんな城主 直虎」で新野左馬助公を演じた、俳優で日本考古学協会会員の荻谷俊介さん。今回は「飛鳥の新発見」をテーマに、酒船石遺跡から発見された導水施設や神籠石式山城などが解説されました。

◀飛鳥時代について図などを交えて講義する荻谷さん

Crematory

火葬場整備を考える

建設候補地に関する情報や意見を募集

市は、市民の誰もが納得できる火葬場の建設候補地を選定するため、広く市民の皆さまからご意見を募集します。皆さまからいただくご意見は、

- ①火葬場建設に関する意見
- ②候補地の考え方に関する意見
- ③候補地の選考に関する意見
- ④候補地の紹介に関する意見
- ⑤その他の意見

とし、今後の火葬場整備計画に生かしていく予定です。

別紙の応募用紙にご意見を記入のうえ、9月30日(日)までに市役所環境課へ提出してください。詳しい応募方法は、応募用紙をご覧ください。

郵送、FAX、直接持参のほか、Eメールでも受け付けます。皆さまからのご意見をお待ちしております。

応募用紙は、市のホームページからもダウンロードできます。

御前崎市火葬場

▼応募用紙



照 会 環 境 課 ☎0537-1162

Atomic

暮らしと原子力

原子力規制庁などに 要望書を提出



内閣府 山本政策統括官への要請

柳澤市長は杉浦市議会議員をはじめとした市議会議員7人とともに7月11日、原子力規制庁を訪れ、安井原子力規制庁長官に要請書を提出しました。

現在、浜岡原子力発電所4号機については新規制基準への適合性確認審査が実施されています。

しかし、平成26年2月に中部電力(株)が原子力規制庁へ申請書を提出し審査が始まってから、すでに4年余りがたちました。そこで、市民の安全・安心のため、浜岡原子力発電所の適合性審査を厳正かつスピード感を持って努めることや、市や市議会、市民に対して審査の進捗状況を説明するよう要請しました。

同日は、原子力規制庁のほか、内閣府、資源エネルギー

庁も訪れ、内閣府には広域避難計画における要配慮者対策や避難受け入れ先との調整など、計画の具体化・充実化への支援、資源エネルギー庁には原子力発電への市民理解が深まるよう国が前面に立った説明をするよう求めました。

要請事項は以下のとおり。

原子力規制庁への要請

▼厳正かつ迅速な適合性審査の実施▼浜岡原子力発電所の安全性に対する理解促進

内閣府への要請

▼浜岡地域原子力防災協議会の継続的な開催▼広域避難受け入れ自治体への国の支援 ほか3項目

資源エネルギー庁への要請

▼第5次エネルギー基本計画改定の説明▼国による浜岡原子力発電所の必要性に対する説明 ほか3項目

School

学び舎の窓から

輝け！元気っ子



御前崎小学校6年1組
ますだ こはね
益田 胡羽 さん

御前崎小を放送で笑顔いっぱい

私は6年生になって、小学校生活最後の1年が最高の1年になるように委員会活動がんばろうと思いました。

去年、私は放送委員でした。放送の仕事を6年生が教えてくれたので、放送が楽しくなりました。イベントでは、全校みんなの笑顔がうれしくて来年も企画したいと思っていました。だから私は、もう一度放送委員になりました。

最初は、委員長になるか迷いました。それは、私にできるのか不安だったからです。

だけど、去年の6年生のようなあこがれの存在になりたいという思いから、委員長になることを決心しました。

今、私は委員長として、みんなにわからないことを教えたり、手伝ったりしています。また、昼の放送をもっと工夫して、みんなが楽しめるように努力しています。

これからも、御前崎小のみんなが楽しめて、最高のほっこり笑顔になるようにがんばります。

学校へようこそ

「またやりたい」、「もっとやりたい」と夢中になって遊ぶ子をめざして

御前崎こども園は、幼保連携型認定こども園です。教育・保育を一体的に行う幼稚園と保育園のそれぞれの良さを併せ持つ施設です。0歳から5歳までの120人の子どもたちが生活しています。

明るくて人懐こい子どもたちは元気いっぱい。気持ちよいあいさつもできます。困っている友達がいれば心配して声をかけたり、手助けしたりする優しい気持ちも育ってきています。

子どもたちに今必要なことは、いっぱい遊ぶことと、おも

いっきり遊ぶこと。そのために職員は、一人一人の子どもたちの発達や育ちを丁寧に捉えて寄り添い、その子に合った援助をして、お預かりしているお子さんの育ちを支えられるよう努力をしています。

好きなこと、やりたいことでたっぷり遊ぶ姿や、興味があることをとことん楽しむ姿、何度も試したり、考えたり、工夫したりする姿、不思議なこと、面白いことに夢中になる姿がたくさんになってほしいと願っています。

▶御前崎こども園
園児数 120人
園長 山下美幸



5歳からサーフィン

7月14日、15日の2日間、磐田市豊浜海岸で開催された「第1回静岡県知事杯サーフィン選手権大会」。種目や性別、年齢別に18クラスが設けられ、約250人が参加した。18歳以下のショートボード・ガールズクラスにエントリーした池田さん。年上の選手をもろともせず、見事、初代女王の座を勝ち取った。

努力に裏付けされた実力

池田さんの技術の高さには、同じく海に向かう大人も目を見張る。サーフィンは自然を相手にするスポーツのため、波のコンディションや風の強さに影響されがちだ。だが、大会ではどんな波でも乗りこなせなくては勝つことができない。10歳の池田さんは荒い波にも果敢に挑む。ひざをしっかりと曲げることで手の位置を気にして、低い姿勢で安定させること」を意識し

ているという。

日々の練習時間を聞くと、「ほぼ毎日海に来て1時間半から2時間。休日はその倍。波の状態が良い日には、登校前にも来ている」と笑顔で話した。日頃の努力は確実に実力に結び付いている。

そこまで頑張れるサーフィンの魅力は、「技が多いからいつまでも挑戦できることと、やっている人が多くて常に上を目指すことができること」だと話してくれた。

夢は大きく！日本代表に

毎週のように大会に出場しているという池田さん。6月に開催された全日本選手権の予選では、惜しくも敗れてしまった。しかし、その後は両親も驚く速さで成長した。

「来年の目標は全日本選手権に出場し、優勝すること。そして、将来的にはプロのサーファーとしてオリンピック金メダリストになって、世界で活躍すること」が夢だ。2020年の東京オリンピックからサーフィンは正式種目。日本代表となった池田さんを、御前崎市民全員で応援する日は近いかもしれない。



10歳の可憐なサーファー 池田 美来 さん

PROFILE

いけだ みらい(中町・10)
第一小学校5年。7月14日～15日に開催された「第1回静岡県知事杯サーフィン選手権大会」18歳以下ショートボード・ガールズクラスで優勝。

防災

今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率は70%
私たちができる大地震への備え

TOUKAI-0「自分の命は自分で守る」

照会 都市政策課 ☎0537-8732

政府の地震調査研究推進本部地震調査委員会は、東日本大震災などの新たな知見に基づいて全国地震動予測地図を更新。「全国地震動予測地図 地図編 2018年版」を6月に公表しました。

「今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率」の地図で、東海～四国地域の太平洋側の確率はかなり高く、静岡市では70%となっています。大規模地震で家屋倒壊の被害に遭わないため、津波被害から逃れるため、家屋の耐震補強は重要です。

昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅は、旧耐震基準で建てられており、大規模地震発生時に倒壊する危険性があります。予想される大規模地震から生き延びるためにも、早めに対策しましょう。

静岡県では「TOUKAI-0」という補助制度があります。ぜひご活用ください。

TOUKAI-0事業補助制度の流れ

①耐震診断

市が派遣する専門家による耐震診断を無料で受けることができます

②耐震補強計画の作成

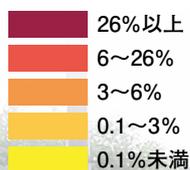
工事箇所、工事費を検討して、補強計画を作成します(補強計画作成費用の2/3を補助 上限有り)

③耐震補強工事

補強計画に基づき、耐震補強工事を実施します(補助金額：最高100万円)

※②と③を一体で実施する補助制度もあります。

図 今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率



「全国地震動予測地図 地図編 2018年版」



Information

8月は 道路ふれあい月間

平成30年度推進標語

きらきらの
この道ずっと 守ろうよ

募集

invite information

市立御前崎総合病院の 31年度採用職員を募集

職種・募集人数

看護師、薬剤師、介護福祉士、
介護員、看護助手…若干人
診療放射線技師…1人

受験資格 有資格者または資格取得見込みの者

申込み 9月14日(金)17時まで
持参または郵送必着

試験日 9月29日(土)

※詳細は、市立御前崎総合病院ホームページ、または照会先へ直接お問い合わせください。

照会 病院管理課

☎0537⑧8511

子育てを経験した人の 資格取得を応援します

キャリアアップを目指して、あなたも参加してみませんか。

子育てを経験を生かした再就職・再チャレンジ支援の試みの一つとして、保育士資格などの取得を目指す人を対象に、保育や子育て現場に従事するために役立つ講座を開催します。

対象 保育士資格などの取得を目指す人(子どもの保護者優先)

定員 30人

受講料 無料

申込み 9月19日(水)~10月3日(木)
受講申込書を(株)東海道シグマへ提出(メール、FAX、郵送可)

会場 磐田市総合健康福祉会館iプラザ

申込先 (株)東海道シグマ教育事業部
保育・子育てニーズ対応チャレンジ事業事務局

〒420-0857 静岡市葵区御幸町8-1 JADEビル6階

☎054(272)0206

FAX054(252)3001

E-Mail: kyoiku@tokaido-sigma.jp

照会 静岡県子ども未来課

☎054(221)3546

東海アクシス31年度の 社会人入学試験を実施

募集人数 看護学科男女30人程度
受験資格

- ・昭和62年4月2日以降に生まれた人
- ・管内6市町(磐田、掛川、袋井、御前崎、菊川、森)に住所を有している人
- ・平成30年3月以前に管内6市町および管内6市町の隣接市(浜松、島田、牧之原)に所在する高等学校を卒業した人
- ・入学試験に合格した場合、必ず入学する人(併願不可)
- ・卒業後は、管内6市町の医療機関に就業する意志を持つ人

出願期間 9月7日(金)~9月21日(金)
17時必着

出願方法 直接または郵送(簡易書留)

試験日

学科・適性試験 10月19日(金)

面接試験 10月31日(水)

会場 東海アクシス看護専門学校(袋井市上田町267-30)

合格発表 11月15日(木)

照会 東海アクシス看護専門学校

☎0538④8111

熱中症にならないよう

● 休憩時間の確保と室温調節

水分補給を心掛けましょう

人の動き

(平成30年7月末日現在の速報値)

(前月比)

人口 32,907 (-20)

男 16,689 (-20)

女 16,218 (±0)

世帯数 12,124 (+8)



今月の表紙



7月25日、太平洋戦争に参加していたという松下嘉實さんを訪ねました。当時の貴重な話を聞き、今の時代は本当に平和だと感じさせられます。見せていただいた当時の写真や従軍証明書。部隊の集合写真には78人写っていますが、生きて日本に帰った人はほとんどいませんでした。

Loss time

特集はお読みいただけただけでしょうか？戦争を体験したことのない自分が特集を組むことに不安もありましたが、減っていく戦争体験者の生の声を伝えるため、掲載を決めました。ページ数の都合上、多くの声を載せることができませんでした。より広く、多くの方の声を載せるため、今年に限らず取りあげていきたいと思います。

さて。私はこの8月で26歳になりました。自分に限界を作らずに、さらに挑戦していきたいと思います！ Y

お知らせ information

総合防災訓練に参加し 地域防災力を高めよう

地域の防災体制の確立と防災力向上のため、総合防災訓練を実施します。積極的に地域の訓練へ参加しましょう。この機会に合わせ、家庭でも避難路の危険箇所を確認したり非常時持ち出し品や家具の転倒防止措置に取り組んだりしましょう。家庭で子どもに防災教育をすることも重要です。非常時の連絡方法なども再確認しましょう。※突発災害や気象警報などにより、訓練が変更や中止になる場合があります。

日時 9月2日(日)8時30分～
・8時30分に地震発生の同報無線
・8時33分にJアラートによる「訓練大津波警報のサイレン」が流れます

照会 危機管理課
☎0537⑤1119

市有地を買いませんか 土地2筆を売却します

場所 御前崎地区と白羽地区それぞれ1筆

地目 宅地

詳細 8月27日(月)に市ホームページへ掲載します

照会 財政課資産経営係
☎0537⑤1112

楽しく運動をしながら 健康と介護予防学ぼう

「おまえざき介護予防運動指導士養成講座」を開講します。講座は、介護予防をサポートする人材を育成することが目的です。理学療法士の指導のもと、楽しく運動

しながら健康について学ぶこともできるので、ご自身にとっても有意義な講座になります。

開催日 10月3日(水)～12月19日
(水)までの毎週水曜日全12回

時間 13時30分～15時30分

場所 御前崎ふれあい福祉センター「なごみ」

参加費 無料

申込み 9月26日(水)まで

申込先 高齢者支援課
☎0537⑤1118

人権に関するお悩みは 人権擁護委員に相談を

市には、法務大臣から委嘱された7人の人権擁護委員がいます。人権擁護の啓発や小学校での人権教室、特設相談といった活動を展開しています。

差別を受けている、職場や学校でいじめを受けているなど、人権についての悩みがありましたらお気軽にご相談ください。

特設人権相談日については、照会先へお問い合わせください。

人権擁護委員

小川正美、爾見知博、吉村義則
鷲山義雄、大石せつ子、齋藤善久
匂坂房男

照会 福祉課
☎0537⑤1121

子どもの人権を守ろう 「子ども人権110番」

8月29日(水)から9月4日(火)は、全国一斉「子どもの人権110番」強化週間です。いじめや体罰、虐待などで悩んでいる子どもを守るためにお電話ください。

相談は、土日も受け付けています。ひとりで悩まずご連絡ください。

時間 平日 8時30分～19時
土・日 10時～17時

電話 フリーダイヤル
0120(007)110

照会 福祉課
☎0537⑤1121

浄化槽の点検・検査と 清掃を実施しましょう

合併処理浄化槽は、家庭からの生活排水をきれいな水に浄化して、地域の快適な生活環境を守る役割を担っています。

浄化槽法では、年3回以上の保守点検、年1回以上の清掃と法定検査が義務づけられています。きれいな水環境を守るため、必ず清掃し、検査を受検しましょう。

単独処理浄化槽を使用中の方は合併処理浄化槽への転換をご検討ください。

検査申込 (一財)静岡県生活科学検査センター
☎054(621)5030

照会 上下水道課
☎0537⑤1126

中小企業の皆さん必見 福利厚生事業に活用を

「OK!ワーク」は御前崎市、菊川市、掛川市の中小企業の皆さんを対象に福利厚生事業の企画や運営をしています。

温泉施設といった施設利用割り引きや人間ドック、宿泊代金の補助、子どもの入学祝い金支給など、さまざまな事業を行っています。ぜひご利用ください。9月から10月に入会申し込みされた場合は入会金が無料になります。また、新規事業所をご紹介いただいた場合には、報奨金などを進呈します。ぜひ取引先やお知り合いの事業所をご紹介ください。

照会 (一財)小笠掛川勤労者福祉サービスセンター
☎0537⑤0298



／かわいい／ おまえぎのたから

8月
生まれの
元気な子



もりた 夢ちゃん2歳 (西側区)



おおいけ ゆつき 大池優月ちゃん2歳 (新神子区)



まつ いりんな 松井稟奈ちゃん2歳 (新神子区)



たかつか ちゆめ 高塚千夢ちゃん2歳 (新谷区)



しみずこうき 清水航希くん3歳 (佐倉二区)



いむらりあ 伊村莉愛ちゃん3歳 (大山区)

かわいい笑顔を募集します。
対象：10月生まれの1歳～3歳児で、本コーナーへ掲載されたことのない子
申込期間：9月3日(月)、4日(火)の2日間、8時15分～17時(最大8枠。先着順)
◆申込先：市役所総務課
☎0537(0)1132

このコーナーは
ケーブルテレビでも
放送されるよ！



さかもとあらた 坂本新太くん3歳 (本町)

普段の食事に 「野菜プラス1皿」



トマトとナスのマリネ

材料(4人分)

トマト 中2玉
ナス 1本
にんにく 2かけ
大葉 4枚
オリーブオイル 大さじ4
塩コショウ 少々

▶ 1人分 = 141kcal

- 1 ナスは乱切りにしてラップをかけてレンジで加熱(600Wで3分)。トマトはくし切り、にんにくはみじん切り、大葉は千切りにする。
- 2 フライパンにオリーブオイルを入れ、にんにくを弱火できつね色になるまで火にかけたら、火を止めて大葉と塩コショウを入れ混ぜる。
- 3 ボウルにトマトとナス、あつあつの2を入れてあえ、食べる直前まで冷蔵庫に入れて冷やす。